

[参考] 先月からの主要変更点

	3 月月例	4 月月例
基調判断	<p>景気は、<u>設備投資と輸出に支えられ</u>、着実な回復を続けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・輸出は<u>大幅に増加</u>し、生産も増加している。</li> <li>・企業収益は<u>改善が続いている</u>。設備投資は増加している。</li> <li>・個人消費は、持ち直している。</li> <li>・雇用情勢は、依然として厳しいものの、持ち直しの動きがみられる。</li> </ul> <p>先行きについては、<u>世界経済が回復する中で</u>、日本の景気回復が続くと見込まれる。一方、為替レートなどの動向には留意する必要がある。</p>	<p>景気は、<u>企業部門の改善に広がりが見られ</u>、着実な回復を続けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・輸出は増加し、生産も増加している。</li> <li>・企業収益は<u>改善の動きが広がっている</u>。設備投資は増加している。</li> <li>・個人消費は、持ち直している。</li> <li>・雇用情勢は、依然として厳しいものの、持ち直しの動きがみられる。</li> </ul> <p>先行きについては、<u>世界経済が回復し、国内企業部門が改善していることから</u>、日本の景気回復が続くと見込まれる。一方、為替レートなどの動向には留意する必要がある。</p>
政策態度	<p>政府は、「<u>経済財政運営と構造改革に関する基本方針2003</u>」の早期具体化により、構造改革の一層の強化を図る。<u>この一環として、3月11日、「経済活性化のための改革工程表」をとりまとめた。また、平成16年度予算及び関連法案の早期成立に努める。</u></p> <p>政府は、日本銀行と一体となって、金融・資本市場の安定及びデフレ克服を目指し、引き続き強力かつ総合的な取組を行う。</p>	<p>政府は、「<u>経済財政運営と構造改革に関する基本方針2003</u>」の早期具体化により、構造改革の一層の強化を図る。<u>また、平成16年度予算、税制改正法案等の成立を受け、これらを着実に執行・実施する。</u></p> <p>政府は、日本銀行と一体となって、金融・資本市場の安定及びデフレ克服を目指し、引き続き強力かつ総合的な取組を行う。</p>

各論

	3 月月例	4 月月例
企業収益	改善が <u>続いている</u> 。	改善の <u>動きが広がっている</u> 。
業況判断	改善が <u>みられる</u> 。	改善の <u>動きが広がっている</u> 。
倒産	<u>これまで減少が続いてきたが</u> 、このところ横ばいとなっている。	このところ横ばいとなっている。
国内企業物価	素材価格の上昇により <u>このところわずかながら上昇している</u> 。	素材価格の上昇により <u>わずかながら上昇している</u> 。
輸出入	輸出は、 <u>大幅に増加している</u> 。輸入は、 <u>緩やかに増加している</u> 。	輸出は、増加している。輸入は、 <u>横ばいとなっている</u> 。

(注) 下線部は、先月から変更した部分。